

海南市立海南中学校 スクールプラン 2026

【海南市教育委員会基本方針】

- 1 確かな学力を育成する
- 2 豊かな心や感性を育む
- 3 健康でたくましい心と体を育てる
- 4 社会の一員としての自覚を育てる
- 5 教育における重要課題の解決に取り組む
- 6 学校運営を改善・充実させ、教師としての資質・能力を高める

学校教育目標

「生き抜く力」を培う

将来に生きる確かな学力と豊かな心の育成

【めざす学校像】

生徒の自立に向け連携・協働する学校

【めざす生徒像】

自分の可能性を信じ、挑戦を楽しむ生徒

- ✦ 学ぶことに真摯に向き合う
- ✦ 人、物、時を大切にする
- ✦ 場に即した挨拶ができる
- ✦ 努力することに価値を見出す
- ✦ 深く考え、実行する

【めざす学校像】を実現するための4重点項目と「海中イズム」の確立

学力の向上

- ① 恒常的な指導方法の工夫・改善
- ② 情報共有・協働により学内連携の強化
- ③ 小中連携をはじめ系統性のある指導の重視
- ④ 自学自習の習慣の定着化

心の育成

- ① 心の安定と適応力の涵養
- ② 道徳科並びに体験的活動の充実
- ③ 実践的な人権教育や生徒指導の推進
- ④ 計画的なキャリア教育の実践
- ⑤ 特別活動の充実



体力の向上

- ① 自立的な心身管理能力の育成
- ② 食に関する指導の推進
- ③ 運動に親しむ態度の育成

安心・安全の保持

- ① 学校運営協議会・各種団体との連携・協働の推進
- ② いじめ問題や不登校等の課題への組織的・継続的・多層的な対応
- ③ 「安全第一」とする熱中症や感染症等の対策並びに防災教育の充実

具体的な取組と取組を推進する

「海中イズム」という成長エンジン

- ① 付けたい力、めあて、見通し、振り返りを意識した授業実践並びに「語る」活動からの深い学びの実現。
 - ② ICTの活用、ノート指導、小テスト等により学習定着度を把握し、生徒個々に適した支援・指導を行う。
 - ③ 小中の接続を意識した中1ギャップの解消
 - ④ 「学習の手引き」を活用し「学び方」を指導するとともに、適切適量な家庭学習を課す。
- * 授業の相互参観実施率：100%
* 「学習の手引き」活用：100%
* 「学習のめあて・見通し・振り返り」実施：100%
* 小中連携及び交流：複数回/年

- ① 生徒サポート部会を中心に、年間計画を作成し、グループワーク等集団での活動、生徒の情報共有を踏まえた支援等を行う。
 - ② 担任以外も道徳科授業を行う。
 - ③ HR、学活、総合的な学習の時間、給食、掃除等の時間に学校職員全員が生徒の育成に関わる。
 - ④ 新聞を活用し時事的な話題等について日常的に考え、視野を広げる機会を設ける。
 - ⑤ 海中「わくわくアッププロジェクト」を実施し、生徒が企画・運営する場面を創出する。
- * 全教員が道徳科授業実施：100%

- ① 予鈴登校の推奨と朝の20分間ルーティンを活用し、遅刻者の減少維持及び落ち着いた始業の確保。
 - ② 食に関する年間指導計画を踏まえるとともに、生徒個々の実態に即し明確な目的をもって達成する。
 - ③ 体力テストや体育祭等の実施に際しては、生徒個々が具体的な目標をもてるよう指導する。
 - ④ スポーツの魅力や運動を楽しむことに繋がる情報を随時伝える。
- * 体力テスト時等目標設定：100%

- ① 熱中症や感染症の予防について、全教職員で研修等を通して共通理解を図り、実状に応じた対策を実行する。
 - ② 生徒サポート部会を中心にSCや外部機関とも連携し、教育相談の充実を図る。
 - ③ 生徒の健全育成を共通の目標に平常時から家庭、民生・児童委員や他機関と連携する。
 - ④ HP、学校・学年だより、すぐる等を通じて情報発信を日常化する。
 - ⑤ 目的の明確な防災訓練、防犯訓練を実施する。
- * 他との連携機会：複数回/年

【めざす教員像】

生徒とともに学び続ける教員

・温かさや厳しさをもって指導し、生徒の心に寄り添う。 ・指導の専門性を高めるため努力し続ける。 ・安定した心を持ち、保護者・地域との信頼関係を大切にする。

【働き方改善の方策】 ①業務の効率化・精選 ②校務における生成AIの利活用事例の創出 ③「ノー残業デー」の個別設定と実施 ④情報の共有化を推進し、個と組織の最適なバランスを実現する